参考２．福島県飯舘村

■基本情報

所在地	福島県飯舘村
地域概況	• 飯舘村は、福島県の浜通りの北部に位置している。総面積230平方kmの約75%を山林が占める。北に真野川、中央に新田川と飯樋川、南部に比曽川が流れその流域に耕地が開かれ集落を形成している。

■取り組みの背景・認識した地域課題

東日本大震災後の全村避難の後、
住民の移転や風評被害に苦しんできた

地域課題	地域資源
地域産業の復興 • 東日本大震災の原発事故によって全村避難を行った。2017年3月に避難指示区域が解除され、一部地域を除き帰村が始まったが、2018年3月時点では元住民6,000人のうち約1割しか戻っていない。	**気候を活かした花卉など産業** • 伝統的に農業は基幹産業であり、約1,200戸の農家が冷涼な気候を生かした花卉（かき）や畜産、野菜の生産に取り組んできた。 • 震災以前から花卉産業が盛んで全国的なブランドも持っていた。
風評被害の解消 • 風評被害の解消・地域再生などに取り組む必要がある。	

■取り組み内容

全国の信金が協力して運営する「よい仕事おこしフェア」と連携、花卉産業の復興を全国にPRし拡販することを通して、資金の流れを生み出して、更なる復興事業に取り組む

- 福島県飯舘村は、震災復興・風評被害解消等を目指して、花卉などの地域産業の再生に取り組んでいる。
- 同村は“よい仕事おこし”フェア実行委員会と、同村の復興や地域振興に向けた包括連携協定を締結した。両者は東日本大震災と原発事故からの復興促進のため、飯舘村で震災以前から盛んであった花卉栽培や観光などを基幹産業とする地域振興を進めている。
- 具体的には、城南信金の本店前に設立した花壇や2019年の“よい仕事おこし”フェアなどをとおしてPRを実施しているほか、“よい仕事おこしネットワーク”を活用して、全国へ向けて花卉の販路拡大を支援する。今後は米など他の産品についても取り組みを開始しようとしている。

（上段：再生前　下段：再生後）

城南信金前に設置した花壇

出所）飯舘村・“よい仕事おこしネットワーク”資料より